

# 中高大一貫でバドミントンに集中 学業から生活・健康面もサポート

石川県内で初めてとなるバドミントン部の中高大一貫校がスタートします。本校では週数回、年代の垣根を超え、レベルに応じて対戦する「連携練習」を予定しています。身近に高校生や大学生といったレベルの高い相手がいることで、部員の伸びしろを広げるとともに、練習に新鮮な刺激を採り入れることが可能となります。同年代の選手たちよりも強い球、速いスピードの中で、さらに高度な環境で練習に集中できるのです。社会人クラブチームの練習も身近な環境で行われており、バドミントンを長く続ける選手たちの競技や練習に向き合う姿勢、マナーを直接目にする機会にも恵まれます。



大学のさまざまな学部との連携により、運動生理学、スポーツコンディショニング、食事・栄養管理といった生活・健康面から、技術指導やメンタルトレーニングまで幅広い分野で各専門家が選手一人一人に充実したサポートを行っていきます。

チーム目標は「全国制覇」。高い目標を持った仲間と共に切磋琢磨しながら、部活動を通し、自分自身の成長を目指し、充実したバドミントンライフを楽しんでいきましょう。

## チームポリシー *policy*

1. 金沢学院大学附属中学校バドミントン部員である自覚と誇りを持つ
2. 自分らしく 明るく笑顔で輝く
3. とともに学び 日々感謝
4. 部活動を自分自身の成長の場として、仲間と共に目標に向かって努力する

## NEWS

国内最高峰の社会人バドミントンリーグ戦「S/Jリーグ」加盟の「金沢学院クラブ」が同じ学園内で練習しています。男子に加えて、新たに女子チームが発足。男女の社会人クラブチームの真剣なプレーは部員たちの大きな刺激になります。

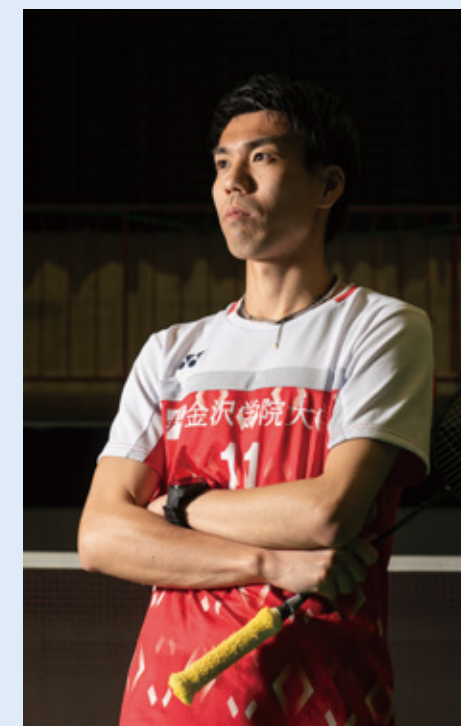
## 指導者の胸の内

### 努力は裏切らない

日本代表選手として約10年間にわたって世界を転戦しました。上達するにはどうしたらよいかを常に考え、ライバルよりも長く練習に打ち込む毎日でした。その原点となったのは、中学校時代に優勝できず、その悔しさから練習に励み、3年生の夏季大会で初優勝したことでした。この時「努力は裏切らない！諦めなければ夢は叶う」と実感しました。部員には、ライバルに差をつけるためにはどうしたらいいのかヒントを与え、人間的に成長できるようなアドバイスを送りたいと思っています。私もS/Jリーガーとして金沢学院クラブを背負って活動しています。チーム金沢学院として一緒に日本一を目指していきましょう。

### 坂井 一将 男子監督

金沢市立工業高校卒業。日本ユニシス-金沢学院クラブ。2014年～16年全日本社会人大会3連覇、2017年全英オープンベスト8、2019年全日本総合選手権3位。



### 原動力は「感謝」の気持ち

バドミントンの練習でつらい時、試合で緊張している時、それを乗り越える大きな原動力となったのは感謝の気持ちです。現在、S/Jリーグの選手としてリーグ戦に臨む中でも、支えてくれている人たち、応援してくれている人たちの思いに応え、恩返しをしたいという気持ちが、自分を突き動かす大きな力になっています。部員にはまず感謝をすることの大切さを教えたいと思っています。感謝の気持ちは、目標に向かって行動していくための大きなエネルギーとなり、意欲が湧きあがってきます。私自身、本校を選び入部してくれた部員への感謝の気持ちを忘れず、一人一人の目標達成のために全力で指導していきます。

### 荒井 大輝 女子監督

金沢市立工業高校、金沢学院大学卒業。金沢学院大学附属高校教諭。2012インターハイシングルスベスト8、14年インカレダブルス3位。



## 練習場所

金沢学院大学附属中学校体育館及び高校・大学施設。日によっては外部施設を使用し、マイクロバスで移動します。

## 活動予定

平日は、授業終了後19時頃まで練習予定。休日にも練習を行います。週1日休息日を設定します。